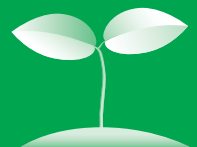


# 育てよう 鏡野のよい子シリーズ



## 「一説から得るもの」

「わっ、カメムシ！」誰からも嫌われる生き物、カメムシが、奥津小学校には大量に出現する。本校に勤務して四年が経過するが、一向に減少することはない。子どもたちは、「先生、とつて」と助けを求めてくる。ガムテープ、殺虫剤、紙に包む、場所を移し逃がすなどの方法がある中、私が取るのは、最後に記した方法。今では私のこの行動に疑問をもつ児童はいない。だが、赴任二年目は、疑問を抱く児童が多く、その都度、「何もしなければ匂いを発することはない、カメムシも生き物」と応答してきた。

本校では、毎週火曜日に全校朝の会（児童朝礼）が行われる。そこで話す機会をいただき、カメムシへの対応から動植物の命について話をさせてもらった。端的に言えば、小動物や植物にも「命」があるということ。それ以来、私の行動に疑問をもつ児童は減り、下敷きや紙ですくい、逃がす児童が増えてきた。さすが奥津っ子。私は、ハエ、蚊、蜘蛛などに対しても同じ行動をとっている。

その理由は、小学校中学年の時に遡る。近所の友だちと野山をかけめぐり、昆虫、は虫類などにいたずら

をして遊んでいた頃、姉から「くもの糸」の話の話を聞かされた。「くもを助けたことよって、悪事の限りを尽くしてきた男に、地獄から抜け出すためのチャンスを与えられる」という話だ。どんな小さな生き物も、生きていくから命を奪うことはいけないと、心に刻んだ記憶がある。それ以来、小動物に対しての考えや行動が変わってきたように思う。

芥川龍之介「くもの糸」は、今でも時折読む。中学校、高校、大学：と成長していく過程では、読み返すたびに、新たな発見があった。あまり読書好きでない私が唯一心に残っている本である。短編小説であり読み聞かせにも利用できる。

奥津小には、図書室ではなく図書コーナーがある。壁がないので子どもたちは気軽に利用することができる。町立図書館の司書の方にも来ていただき、児童が興味をもちやすいようにレイアウトもしていただいている。

これから成長していく中で、子どもたちには、たくさん作品を手に取り、心に残る素晴らしい作品に出会ってほしいと願う。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

奥津小学校 谷口 浩治

# のびのびひろば

## 新型コロナウイルスに負けないぞ!!

今年には新型コロナウイルス感染症という予想もしない状況になりました。こども園では、様々な予防対策を行うとともに、子どもたちが生活や遊びの中で、感染予防のために必要な行動や習慣を身につけています。

飛まつ感染の  
予防を  
しているよ!



食事は同一方向で

お当番さん  
ありがとう



場に  
応じた  
マスクの  
着用

丁寧な  
手洗い  
と  
うがい



きれいにな〜れ

お友達と  
近づき  
過ぎない  
ように  
気をつけ  
て!



密を  
避けて  
元気に  
遊ぶ



あわあわ〜

登園したら  
消毒をするよ!



手の消毒

お部屋は  
いつも  
換気して  
います



部屋の換気

(芳野こども園)